

平成21年度 第1回学校会議速報

今回は、下の2つのテーマについて話し合われました。

※正式な議事録は後日通知表と一緒に発送いたします。

ロッカーの使用について

持ち帰って
きちんと勉強
して欲しい

【教職員からの回答】

- ロッカーは公共の場
- 本来学習に必要なものは家庭から学校へ持ってくるべき
- 家庭学習のために、毎日持ち帰るべき

教職員

【教科物件の範囲についての確認】

実状にあわせて、体操服・作業着・体育館シューズなどは、毎日持ち帰らなくても良い
ただし、盗難・紛失・いたずらの可能性もあるので注意！！自己判断すること

何年経っても守れていない現状で、「頑張ります」だけでは信用できない。罰則を設けることで改善されるのでは？

保護者

ロッカー設置までの経緯が議事録として学校のホームページに載っているのだから、それを見てルールを重さを考えて、守って欲しい

学生の本分は勉強。

部活が大変だからとか、重いからとか、勉強しないので持ち帰らないというのは受入れられない。

勉強するしない関係なく、持ち帰って当たり前。

先生方は学生の時、本当に持ち帰って勉強していたの？

生徒

なぜ教科物件を持ち帰る必要があるの？

(前回の学校会議での生徒からの質問)

部活で忙しくて勉強する暇がなく、持ち帰っても意味がない

勉強するものだけ持ち帰るのではダメなの？

自転車に乗って持ち運びするのは大変なので無理

盗難とかいたずらとか心配なので持ち帰るべきかも…

ロッカーや机は自分の場所。公共の場とは思えない

実際に持ち帰ってみたら、思っていたほどでもなかった

心底納得しているわけではないが、先輩たちが話し合ってきたルールは尊重すべき

今後の学校会議のあり方について

教職員からみた学校会議の問題点

(教職員の統一見解ではなく、意見をまとめたもの)

1. 学校会議に対する共通理解、関心が薄く、傍観者の立場の者が多い。
2. 合意した内容を生徒が守っていない。
3. 学校会議に参加する生徒は育っているが、それ以外の生徒への効果が薄い。
4. 時間をかけて学校会議をしても達成感がない。
5. 回答や実施に時間が掛かりすぎる。
6. 学校会議によって学校が良くなっているという実感がない。
7. 学校会議によって生徒と教職員の信頼関係が深まっているとは思えない。
8. 実施時間の18:00~という設定が、「みんなで学校を良くしよう」を困難にしている。
9. 合意内容が保護者に十分伝えられていない。
10. 「~することを許して欲しい」という要求ばかりで「~と一緒にしていこう」という提案がない。

学校会議に対する温度差 (関心のある・なし)

- 3者共通の問題点 (生徒・保護者・教職員)
- 学年ごとに議題を保護者からアンケート形式で募るのはどうか？ (保護者)
- オブザーバーに発言権を持たせてはどうか？ (生徒)

学校会議の意義

- 教職員にとっての達成感とは？ (生徒)
- 学校が良くなっているという実感。(教職員)

制度に関する検討

- 時間が掛かるのは当たり前では？ (生徒)
- システム的な問題。携帯電話許可の例で言えば、後から検討し始めた他校が、志度高より先に実施が決まった (教職員)

実施時間の検討

- 平日の昼間では、保護者の参加が減るだろう (保護者)

広報に関する検討

- 結果を保護者にメール配信するのはどうか？ (生徒)

議題に関する検討

- 校則改定に、教職員は反対なのか？ (生徒)

→時代に合わないものや、本当に困っていることについては大いに結構。(教職員)

- 教職員は具体的に何を一緒にしたいと考えているのか？ (生徒)

→想像だが、「遅刻ゼロ 100日達成」とか「校区内美化運動」などが自発的に議題にのぼるのなら素晴らしい。(教職員)

- 生徒の関心がそこにあるので、結果として仕方がない。教職員としてはもっと違う視点の意見をという気持ちも分かる。(保護者)

- 生徒からの議題が多かったためにそうなった。教職員や保護者からの議題が出せていないことを反省する気持ちもある。(教職員)

これまでの先輩たちが決めて作り上げてきたルールは大切なもの。ルールを守れていないのは事実なので、ルールを尊重し、生徒全員がルールを守れるよう頑張るべき。

学校会議は今後も続けるが、その実施方法には改善が必要。3者の代表で構成した小委員会を設け、次回学校会議に改善案を示せるよう、話し合いを続けていきます。